

## 貴重な明治期の夏休み復習帳

### 1 はじめに

今回紹介した資料は「学事関係諸令達通牒」という簿冊に保存されている、明治時代に北諸県郡内の小学校で実際に課せられた、夏休みの復習帳です。現在の夏休みの宿題の基となった復習帳の内容と併せて、明治時代の初等教育制度の成り立ちや、長期休暇中に宿題や日記が課せられるようになった背景について、ご紹介します。

### 2 明治時代の小学校制度

年代	法令名	特徴
明治5年(1872)	学制	日本最初の近代的学校制度を定めた教育法令
明治12年(1879)	教育令	学制を廃止し交付された教育に関する法令
明治19年(1886)	小学校令 (第一次小学校令)	○小学校を尋常小学校・高等小学校の二段階にする ○普通教育の義務化を規定「義務教育の始まり」
	小学校ノ学科及其程度	○修業年限は尋常・高等各4年 ○義務教育期間は尋常小学校の4年間と制定
明治23年(1890)	小学校令 (第二次小学校令)	○尋常小学校の修業年限を3年、または4年 高等小学校を2年、3年、または4年と制定
明治33年(1900)	小学校令 (第三次小学校令)	○尋常小学校の修業年限を4年に統一 義務教育期間も再び4年間となる ○義務教育年限延長に備えて高等小学校の併置を奨励 ○義務教育の無償制を制定
明治40年(1907)	小学校令中改正	○尋常小学校の修業年限が4年から6年に延長 義務教育期間が6年間となる

### 3 夏休みの始まり

明治14年(1881)に達せられた、「小学校教則綱領」の第七条に制定されたのが始まりです。

小学校教則綱領

第一章 小学科ノ区分

(中略)

第七条 小学校ニ於テハ日曜日、夏季冬季休業日及大祭日、祝日等ヲ除クノ外授業スヘキモノトス

#### 4 夏休みの復習実施調査依頼

明治43年(1910)文部省が「夏季休業日に心身の休養を妨げない範囲内で、既に学習した教科目を忘却させることなく、児童が自発的に復習し、なるべく学んだ知識を実際に活用させるには、どのような方法が良いか?」という調査依頼を出しました。これを受け、県が各郡宛に報告書作成を依頼しました。

#### 5 都城尋常高等小学校の報告書(現在の都城市立明道小学校)

(1) 復習法
① 毎日涼しい朝夕の時刻に復習すること
② 低学年は1日約30分程度、高学年は1日約1時間程度を限度とすること
③ 児童が自発的に復習できるほどの課題の選択並びに分量に注意すること
(2) 課題の種類と結果調査
【全体の課題】
① 国語算術を主として課題を選ぶこと
② 課題を写し取らせること(休業前に児童が課題を書き写して帰る)
③ 課題自習の実行を調べ、間違いを指摘し批評すること
【国語について】
① 国語は視写(手本とするものを見て書き写すこと)をさせること
② 尋常科5年生以上は毎日日誌を記させ、作文力の養成をすると共に、児童の実際生活行為が、既に学習した道徳と適合しているかを検査すること
【算術について】
① 算術は形式の練習算を主として課し、運算を正確迅速になること
② 算法(計算方法)を忘れるのを防ぐことに注意
③ 課題は写し取らせるか、教科書に課題箇所を指定して記す
【その他の課題】
① 国語・算術以外の復習課題等の実施は担任教員の一任にする
(3) 休業中における児童召集(登校日の実施)
召集日(登校日)には、復習ならびに訓練上についての注意をする
召集日は8月12日、16日、22日、26日、30日

## 6. 西嶽尋常高等小学校の報告書（現在の都城市立西岳小学校）

他の学校では行われていない、地域の特性に応じた取り組みが報告されました。

西嶽尋常高等小学校は学校の位置が人里から離れており、また道路が険悪な為に、夜間や朝間に児童を召集し復習することが困難であるので、自主的に復習させる他に良い方法がなかった為、以下の取り組みをおこなった

(1)従来は6区に区分しているが、そこから児童の多少、土地の便不便、遠近等の関係から9組に分ける

(2)児童は1組を一円とし、平均24名強となる

(3)各組の中高学年の内、品行方正で学力優秀な児童を「組長」に任命し、校長から組長に任命された中高学年へ、以下の論告をおこなった

イ、組長に任せられた者は名誉であり、常に他の生徒の模範となること

ロ、休業中は学科の復習は元より、遊戯その他の際にも他の生徒の世話をすること

ハ、骨を惜しまないこと

(4)父兄への希望

イ、各組内で児童が夜間、又は昼間集会すべき場所を比較的教育熱心な有志の家を決め、教員が出張の上借りる

ロ、児童が集会すべき家の人は、常に児童の監護の任務にあたる様依頼する

ハ、一般児童の父兄に復習の目的方法等の説明をして、その助力を乞う

## 7 学年別夏休みの宿題帳

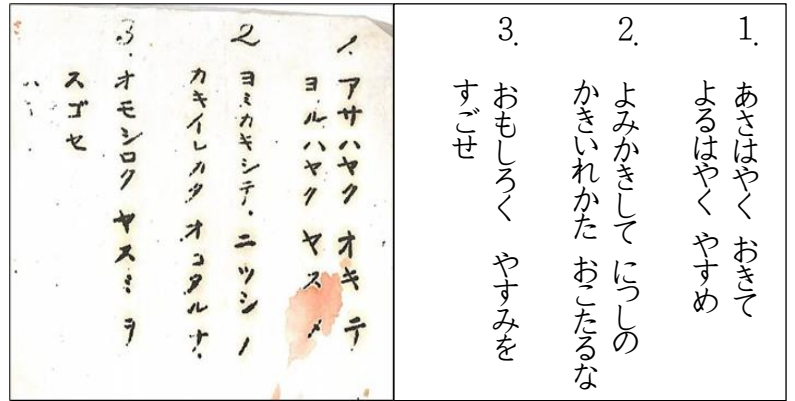
北諸県郡内の小学校で実際に課せられた、実際の復習帳（一部抜粋）です。復習帳は主に、夏休みを過ごす上での心構えを書いた「休暇中の心得」と、問題集で構成されており、また高等科1年生には日誌が課せられていました。

### 尋常科第1学年の復習帳


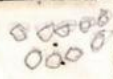
【復習帳の表紙】



【休暇中の心得】



【問題】

ハチ	ビン	サラ	
ハチ	ビン	サラ	ナス
9	0	00	000
	1	2	3

#### （問題の解説）

黄色の枠・・・上段のカタカナをお手本に、下段に鉛筆で同じ文字を書く問題。

赤色の枠・・・描かれた物（ナス）の名前を答える問題。

緑色の枠・・・数字の数を○で描く問題。9個の○が描かれている。

青色の枠・・・描かれた○の数を答える問題。



尋常科第3学年の復習帳

【復習帳の表紙】



【休暇中の心得】

休暇中の心得

一、毎日一時間ほどはおさらいしなさい。  
二、早くおきて夜は早くねなさい。  
三、よくうんどうしなさい。  
四、よちのてつだいしなさい。  
五、よいともだちをえらびてあそびなさい。  
六、めうえの人をうやまいなさい。  
七、からだを大切にしなさい。  
八、なま水をたくさんまぬようにしなさい。  
九、八月十日と二十日と二と学校に集まりなさい。

休暇中の心得

一、きれいにかきいれなさい。  
二、毎日一時間ほどはおさらいしなさい。  
三、あさ早くおきて夜は早くねなさい。  
四、よくうんどうしなさい。  
五、よちのてつだいしなさい。  
六、よいともだちをえらびてあそびなさい。  
七、めうえの人をうやまいなさい。  
八、からだを大切にしなさい。  
九、なま水をたくさんまぬようにしなさい。  
十、八月十日と二十日と二と学校に集まりなさい。

【問題】

187

(1)  $419 + 462 = 881$   
 (2)  $638 + 233 = 871$

答 八百七十一  
 答 九百八十一

つぎのまぜざしをなせ。

八月九日 水曜日 晴天

つぎのかんじにかなをつけなさい。

魚 夜 通  
 間 知 野原  
 私 雨 休 風

八月十日 水曜日 晴天

(1) $419 + 542 = 961$ (正解 961) (2) $638 + 233 = 871$	つぎのよせざし(足し算)をなせ。	八月九日 水曜日 晴天
正答 八百七十一	正解 九百八十一	
魚 夜 通	間 知 野原	八月十日 水曜日 晴天
	私 雨 休 風	

尋常科第5学年の復習帳

【復習帳の表紙】



【休暇中の心得】

一、身体ヲ丈夫ニスルコト  
 二、内ノ手傳ヲモクスルコト  
 三、豫定ノ復習ヲスルコト  
 四、面白ク休ヲスゴスト  
 五、天気ハ晴レトカ曇トカ雨トカ一字アカクコト

- 一、身体を丈夫にすること
- 二、内の(いへの)手伝いをよくすること
- 三、予定の復習をすること
- 四、面白く休みをすごすこと
- 五、天気は晴れとか曇とか雨とか一字でかくこと

【問題】

科		八月十九日 金曜日
		晴天
<p>蛙が卵から蛙になる事ヲ書ケ</p> <p>蛙はちばんは卵をうまつけま す。うまれてからうまはまじやしと うものになりま。それからうま しからうてきま。てかかなくた りま。そのそれからうまはまじや えうとつ。そのつはまじや ます。そのしてはまじやのつ るにま。るのでありま。</p> <p>明日ハ此後雨降ル事ヲ書ケ</p>		

科		理
		八月十九日 金曜日
<p>蛙が卵から蛙になるまでの事を書け</p> <p>蛙はいちばんは卵をうみつけま す。うまれてからおたまじやくし といふ(いう)ものになります。それ からあしがおえて(はえて)きて お(尾)がなくなりま。それから はいぞう(肺臓)とえらといつそ(い つしよ)にできま。そしてほん と(本当)の蛙になるのであり ま。</p>		晴天

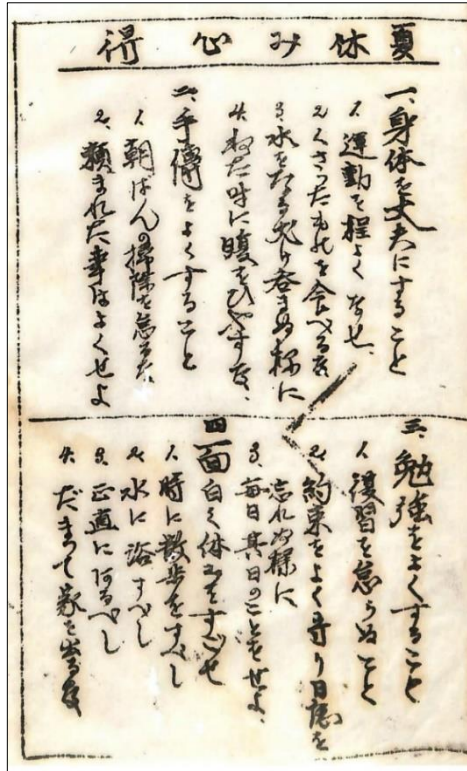


高等科第1学年の宿題帳

【復習帳の表紙】



【休暇中の心得】



夏	休	み	心	得
一、身体を丈夫にするべくして	二、勉強をよくすること	三、復習を怠らぬこと	四、面白く休みをすごせし	一、身体を丈夫にするべくして
1. 運動をほどよくさせ	1. 朝ばんの掃除を怠るな	2. 約束をよく守り日誌を忘れぬ様に	2. 水に浴すべし	2. くさったものを食べるな
2. 水はなるだけ飲まぬ様に	3. 毎日その日のことをせよ	3. 正直にあるべし	3. 正直にあるべし	3. 水はなるだけ飲まぬ様に
4. ねた時に腹をひやすな	4. だまつて家を出るな	4. だまつて家を出るな	4. だまつて家を出るな	4. ねた時に腹をひやすな
二、手伝いをよくすること				二、手伝いをよくすること
1. 朝ばんの掃除を怠るな				1. 朝ばんの掃除を怠るな
2. 頼まれた事はよくせよ				2. 頼まれた事はよくせよ

【問題】



起床 午前六時六分  
就寝 午後十時十分

日誌  
朝地理を読み綴り方を書きました。午後二時から桑つみに行き愉快につみて早く帰って本を読みました。それから庭の掃除をして湯に入つて算術国語等をしらべて床に就きました。